

経営者への活きた言葉

私利私欲が表に出ると会社は潰れる 樋口 武男(大和ハウス工業会長兼CEO)

1. 我々が非常に大切にしている創業者の教えがあります。それは、「儲かるから」ではなく、「世の中に将来必要とされるか」の視点で事業を考えろというものです。不思議なもので、この視点に立った商品を開発すると、結果として事業として成り立ちます。「儲かるから」と言う動機で始めると、大抵はうまくいきません。
2. リーダーたる者には4つの力が必要です。先見力、判断力、統率力、そして人間力。この人間力が一番難しい。後ろ姿で部下を引っ張れる力で、俗に言うオーラです。「おまえ、俺にオーラを感じてくれ」と言って感じられるものではありませんが、人間的魅力がないと部下はついてきません。
3. 松下幸之助さんが晩年に講演された言葉も心に残っています。「私はこの年になっても、会社で大きな影響力を持っています。影響力を持つ人間は毎日、私利私欲を抑えるために葛藤しないとイケない。私利私欲が表に出てくると、会社は潰れます」と。私はこれまでにいろいろな会社を見てきましたが、潰れる会社は、トップに立つ人間に「俺が、俺が」というのが多い。自慢話が多い。後ろにふんぞり返って、そして後ろに倒れてしまう。

(参考:「日経ビジネス」2012年8月6日・13日号)

ワンポイント経営アドバイス

事業は社員が知恵を出し合うこと 石原 進(JR九州会長)

1. 事業は社員が知恵を出し合うことが大切です。皆がそれぞれの持ち場で、どうしたらお客様のためになるかを真剣に考えることが、収益の種になるのです。社員の意識を高め、創意工夫の湧き出ずる職場にすることが、会社を伸ばすことにもつながっていくと思います。
2. 並行して5S(整理・整頓・清掃・清潔・接遇)の徹底をします。するとお客様から好感を持たれていい反応が得られる。社員も嬉しくなるから余計一生懸命にやるようになる。こういう好循環が生まれるわけです。

(参考:「致知」2012年10月号)